

第31回三重県スポーツ少年団卓球交流大会ルール及び試合方法

1, 試合の方法について

- ①試合はリーグ戦又はトーナメントとする。(出場チーム数によって決定する。)
- ②試合1点先取とし、小学生団体予選リーグは小学生3ゲームスマッチ、決勝トーナメントは5ゲームスマッチとする。中学生は全試合5ゲームスマッチとする。
- ③サーブは2本交代とする。
- ④小学生団体は3シングルスとし、予選リーグは3試合行うが、決勝トーナメントは2試合で決着がつけば、3試合目は行わない。
- ⑤試合球は(公財)日本卓球協会公認40mm(VICTAS)を使用する。〈協賛の関係〉
- ⑥セット間のチェンジエンドは行わないこと。
- ⑥チーム編成は開催要項を参照のこと。

2, 友好試合について

試合進行状況により友好試合を行うことがある。ただし、友好試合は競技の進行により、途中で打ち切る場合がある。

3, 服装について

- ①競技時の服装は半袖シャツ、ショーツ又はスカートとする。また、室内用シューズを使用すること。なお、団体戦出場チームのユニフォームを統一する必要はない。
- ②各選手はゼッケン(開催要項参照)をユニフォームの背中につけること。

4, その他

- ① 試合終了後は新型コロナ感染防止対策として、手指消毒を行う。記録用紙には自分の筆記用具を使う。
- ② 大会球はプラスチックボールを使用する。
- ③ 団体戦において競技運営上、同一チームの試合を並行で行うこともある。
- ④ 競技者は相手に対して競技中、監督・選手に影響を与え、ゲームの評判を落とすような癖や態度は慎み、常にフェアプレーに徹するよう努めなければならない。
- ⑤ 観客及び応援者は競技中、監督・選手に影響を与えるような応援をしてはならない。応援中は拍手のみとし、大声での声援はしないこと。また、写真撮影のためのフラッシュを用いることは選手に影響を与えるので禁止する。またソーシャルディスタンスを保つこと。これらの応援や行為に対しては守れていない場合は審判長が積極的に注意する。監督は選手・関係者にこれを徹底させること。
- ⑥ ベンチコーチは監督1名、コーチ1名が入ることができる。
- ⑦ 試合当日団員が欠席となり、チームが2名以下となった場合の対応方法は、大会当日の監督会議及び対戦チームの監督と協議のうえ、決定する。